

教育目標：よく考え 進んで学ぶ子  
正しく判断し 行動できる子

自分も友だちも大切にする子  
体を鍛え 最後までやりぬく子



学校だより

# 高松

令和6年1月9日 発行

立川市立第五小学校

校長 関口 保司

〒190-0011

立川市高松町1丁目12番25号

TEL 042-523-5238~9

042-523-5230 (こだま学級)

FAX 042-529-0854

HP <https://www.tachikawa-edu.jp/es05/>

## 3学期スタート

校長 関口 保司

新しい年が始まり、子どもたちの元気な声が、学校に戻ってきました。今日から3学期のスタートです。

今年は1月1日に、「令和6年能登半島地震」が起きました。マグニチュード7.6、最大震度7（立川市は震度2）というとても大きな地震です。この地震で、多くの方が亡くなり、たくさんの方々が被害に遭われています。亡くなられた方々のご冥福を祈るとともに、被害に遭われている方々にお見舞いを申し上げます。昨年12月の学校だよりに記したように、私の実家は阪神淡路大震災の際に被害を受け、親戚の中には亡くなった方もいます。それだけに、ニュースを見ながら、甚大な被害状況や懸命な救助・救援活動に心が痛みました。

本日の始業式では、改めて地震の話をしました。ニュース等で報道されることを、決して他人事とせず、自分ができることを考えようと伝えました。地震の備えや、11月に行った地域合同防災訓練のことを思い出して考えようと話しました。ぜひご家族でも話し合ってみてください。

また始業式では、改めて大谷翔平選手が高校時代に立てた目標の立て方を紹介し、「目標を立てることの大切さ」についても話しました。その際に、「肯定的な言葉を使って具体的な目標を立てよう」と話しました。「～をしない」ではなく、「～が、これぐらいできるようになる」という目標の立て方です。そして、「月に1回は振り返りを行おう」とも話しました。子どもたちが具体的に立てた目標を、実現できる1年になってほしいと考えています。

さて昨年は、新校舎の増築や新しい校庭で運動会を実施しました。3学期も、さらに新しい取組を進めていきたいと考えています。2月には展覧会を実施します。また卒業式や入学式の実施方法も検討を重ねています。各教室には電子黒板が導入されました。子どもたちの興味・関心を高めるだけでなく、思考力や判断力、表現力も伸ばしていきたいと考えています。そして1月26日には市内の教員を対象に、教科担任制の取組の研究発表会を実施します。

新しい年も工夫を重ねながら、今だからこそでできる学びに取り組んでまいります。本年も本校の教育活動にご理解・ご協力をよろしくお願い致します。

本校では、地震で立川市が震度5弱以上の場合、児童の引き渡しを行います。また東日本大震災の時のように、震度4であっても引き渡しを行う場合もあります。その際は、メール・ホームページ等でお伝えします。